

# がんと栄養

第7号  
2018年10月  
偶数月に発行

発行：西神戸医療センター-NST  
がんと栄養チーム

## 今回のテーマは『食欲不振や胃もたれなどの対処薬について』です

初めて抗がん剤治療を受けられる時、吐き気・嘔吐について心配される患者さんも多いのではないのでしょうか。最近では、治療前に制吐剤の使用などによって、ほとんどの患者さんで症状が緩和できていると言われています。

しかしながら一部の患者さんでは症状が残る、また食欲不振が続いて体重減少につながる方も少なくありません。また症状の進行に伴い、栄養不良になることもあります(その原因については第1号で紹介しています)。

これまでのがんと栄養新聞で食事療法、栄養補助食品の事について触れてきました。それでも、なかなか食欲がない時、胃もたれがあって食事が進まない時の対処薬についてご紹介します。



### 1 六君子湯



食欲増進ペプチドであるグレリンの分泌を促進して食欲不振を改善します。  
がん化学療法中の患者さんの食欲不振を改善します。  
その他にも胃炎、消化不良にも使用します。

★六君子湯豆知識：「君子危うきに近寄らず」と言われるように「君子」は人格者の意味であり、消化器系に働く重要な6つの生薬が配合されていることで「六君子湯」の名がついたとされています。

### 2 大建中湯



腸管運動を亢進するアセチルコリン、モチリンの分泌を促進して腸管を動かすお薬です。  
腸管の血流も増加させます。お腹が冷える痛み、腹部膨満感に効果があります。  
便秘、術後のイレウス予防にも使われます。

★大建中湯豆知識：大建中湯の‘中’は消化器を指し、消化管を大きく立て直すという意味。現在、日本で最も使用頻度の高い漢方薬の1つです。

### 3 ガスモチン®(モサブリド)



アセチルコリンの遊離を促進して消化管(食道、胃、十二指腸、大腸)の運動をよくし、機能を改善します。

### 4. アコファイド®



胃の運動機能を改善したり、胃の内容物の排出を促進したりします。通常機能性ディスぺプシア\*における腹部膨満感、上腹部膨満感、早期満腹感の治療に用いられます。

※機能性ディスぺプシア：胃の動きが不十分であったり、胃が敏感であったりすることにより、「胃の痛み」や「胃もたれ」などの症状がみぞおちあたりにあらわれます。

他に、悪心、嘔吐を伴う食欲不振のある患者さんには、**フリンペラン<sup>®</sup>**（メトクロプラミド）、**ナウゼリン<sup>®</sup>**（ドンペリドン）などを使います。



## 味覚障害について

5-FU系の抗がん剤は粘膜障害がおこりやすく、**味蕾の障害**を引き起こします。また、タキソール<sup>®</sup>やアブラキサン<sup>®</sup>、タキソテール<sup>®</sup>、シスプラチン、エルプラット<sup>®</sup>、オンコビン<sup>®</sup>、エクザール<sup>®</sup>などは**神経障害**による味覚障害を引き起こします。

治療中にはある程度避けられないところもありますが、口腔内を清潔に、唾液腺を刺激し乾燥させないことが重要な予防になります（うがい、ブラッシングをしましょう）。

また、味蕾の再生には微量元素の**亜鉛**が必要なため、**亜鉛の多い食品**や**サプリメント**、**薬**などで**亜鉛**を補給することで味覚障害が予防できる場合があります。最近、低亜鉛血症の治療薬として**ノベルジン錠<sup>®</sup>**が発売されました。

## 医薬品として利用できる栄養剤について（医師の処方せんが必要です）

第4号の『**栄養補助食品にはどんなものがあるの？**』で紹介していますが、少し詳しくお話ししようと思います。

ONS（経口栄養補助）は、普通の食事に加えて「**経腸栄養剤**」や「**濃厚流動食**」を飲むことで、不足分の栄養を補おうというものです。そこで、当院採用の「**経腸栄養剤**」を紹介します

エンシュア <sup>®</sup> ・H	エネーボ <sup>®</sup>	ラコールNF <sup>®</sup>	エレンタール <sup>®</sup>
バニラ味・コーヒー味 (バナナ味、黒糖味、 メロン味、ストロベリー味)	バニラ味	ミルク味 (コーヒー味、バナナ味、 コーン味、抹茶味)	10種のフレーバー
			
エネルギー：375kcal 250ml/缶 たんぱく質：13.2g	エネルギー：300kcal 250ml/缶 たんぱく質：13.5g	エネルギー：200kcal 200ml/パケ たんぱく質：8.76g	エネルギー：300kcal 80g/パケ 遊離アミノ酸：13.2g
<ul style="list-style-type: none"> <li>医療用医薬品で唯一の<b>高エネルギータイプ</b>の経腸栄養剤（1.5kcal/mL）</li> <li>少ない量で高カロリーを補給</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>BCAA<sup>*</sup>強化</b>、<b>魚油</b>を配合</li> <li>食物繊維やフラクトオリゴ糖配合（便を正常化）</li> <li>医薬品経腸栄養剤として初めてセレン、カルニチンなどの微量元素を配合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本人の栄養摂取パターンに合わせている</li> <li>脂肪が少ない</li> <li>植物性たんぱく質が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>窒素源は<b>アミノ酸</b>で構成され、吸収されやすい</li> <li>低脂肪、低残渣</li> <li>さらっとして飲みやすい</li> <li>10種のフレーバーがあり味のバリエーションが楽しめる</li> </ul>

※ 味の（ ）の中は当院採用品ではありません。

※ **BCAA**（分岐鎖アミノ酸）：筋肉合成の促進効果があり、筋肉量の減少を補い、傷の治りをよくするとされています。

次号は「**栄養補助食品について（2）**」です。